

平成 30 年度 枚方市バリアフリー推進協議会 議事録

日時：平成 31 年 3 月 20 日（水）午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分

場所：枚方市民会館 1 階 第 1・2 集会室

1. ・改正バリアフリー法の概要について（説明）
 - ・心のバリアフリーの推進について（動画上映）
 - ・各事業者の取り組み等について（報告）

2. 主な意見

・改正バリアフリー法の概要について

（委員）バリアフリー法の改正により誘導ブロックの設置については、これまでの階段方向への誘導からエスカレーター方向に変更すると聞いたがどうなのか？

（アド）法改正の内容ではなく、移動円滑化ガイドラインの改正の中で、整備基準が変更され点字ブロックがエスカレーターの方に付くということである。

（委員）障害者等の参画とあるが知的障害者は入っているのか？

（アド）含まれている。

・心のバリアフリーの推進について

（委員）内閣官房作成による動画とのことだが、文部科学省が教育の一環として取り組むことが効果的であり望まれる。

（アド）学校の総合学習の場でも障害を学ぶ機会が増えており、小さい頃からの教育は重要であり、市の方でも教育部局と調整し進めていただきたい。他、国における小学生を対象としたバリアフリー研修などについて報告願いたい。

（委員）バリアフリー教室を各府県・支局で実施及び参加をしている。大阪府内においては、大東市でバス車両を持ち込み、車いすでの乗車体験を行っている。また、高槻市で座学や体験学習、障害者との対話の機会を設けるなどの市で行っている研修に参加している。

（委員）市ではこの動画教材を活用する方法を何か考えているのか？

（事）庁内における情報共有をはじめ、今後、市民を対象とした出前講座等のなかでも取り入れたい。

（委員）ラポール枚方や市役所の受付など、テレビなどを通して随時動画を配信するなど検討願いたい。

（委員）事業者の方々も積極的にこの動画を見ていただき、ハード整備だけでなく、障害者の動きそのものについて学び、事業者として何が必要なのかを理解することが大切である。

・各事業者の取り組み等について

（委員）特急電車の車内案内表示がはっきりと見える位置で、次にどこに停まるのかがわ

かり便利である。ただし、事故などで止まった際の表示がなく対処に困るので、情報表示をお願いする。

- (委員) 車内案内表示装置は通常のプログラム内容が表示され、現在は、事故などの緊急時に対応した内容を配信できる仕組みが整っていない。よりわかりやすいご案内ができるよう、今後とも工夫を重ねていきたい。
- (委員) 法改正では「事業所はハード・ソフト計画の作成」とあるが、ソフト面について各社どのような教育をしているのか？
- (委員) 災害時に車いすのお客さまが乗車されているケースなどを想定した訓練を行っている。貴重なご意見が頂けたら社内で共有し、今後の訓練に活かしていきたい。
- (委員) 災害時にバスが止まったという想定で、消防と本社を交え、現場担当者や運行管理者を含めた、緊急連絡網の体制と機能検証を行っている。連絡体制が不備な点はその都度改善していく。
- (アド) 災害訓練だけでなく、接遇等のバリアフリー全般でのご意見をお願いする。
- (委員) 接遇懇談会を開催し、車いす乗車時の介添え訓練や、体験による気付き調査などを行っている。また、今後、ワンステップ車両を車両更新の際に順次ノンステップ車両に入れ替えていく予定である。
- (委員) 福祉タクシー専任の乗務員が、バリアフリー教室の講師として研修を行うなど、機会あるごとに検証している。現在、リフト付きワンボックス車と車いす対応車2台を配備しており、先月、ジャパンタクシーの研修会を行い、早ければ夏までに車両を1台配備し、評判をみながら増やしていきたい。他社については不明であり情報をとっておく。
- (委員) タクシーではコミュニケーションの取り方などについて、心のバリアフリーなどの研修に参画するなど、話す機会や実際に車いすの操作学習などに取り入れてほしい。
- (委員) バス利用において、乗務員が視覚障害者の白杖に気付かず、行き先などの質問に不親切な対応を受けることがある。車内放送なども乗務員によって差があると感じるがどのような教育をしているのか？
バス停に設置されるQRコードでは、走行状況のほか何がわかるのか知りたい。家の近くのバス停は時刻表が上にあり、カメラが届かずQRコードが読み取れないので改善してほしい。
- (委員) すぐに改善できる内容については、対応していきたい。QRコードは位置情報をGPSで分かるようにしている。接遇に対しては、本社での研修会と各営業(支)所に於いては、毎月事故防止接遇向上懇談会を実施している。今後も定期的に乗務員へのカウンセリングを行っていく。
- (委員) タクシー乗務員も視覚障害者には是非声掛けをしてほしい。スライドドアなのかどうか等の状況がわからず困るので、声掛けの指導をお願いする。
- (委員) 貴重な意見であり役立てたい。
- (委員) 電車では音声・マイク放送による対応に感謝しているが、ヘルプマークの事も車内掲示されているとのことだが、音声でもアナウンスしてほしい。

- (委員) 関係部署に意見を伝えて検討していきたい。
- (委員) 大阪市のバスのように、バス停の表示板にあと何分でバスが到着するかなどの情報案内を行ってほしい。
- (委員) 指摘のシステムは、費用面、設備投資などを考慮すると現状では難しい。
- (アド) 現状はインターネットを通じた QR コードで読み取る仕組みというところまでは来ているという事です。
- (委員) 知的障害者の代理できていますが、本来なら知的障害者当人がいて、私が後ろからサポートするのが正しい形だと思う。
- (委員) 私たち障害者はこれまでも色々と要望してきたが、知恵を凝らしていただいたことに感謝している。これからも自分たちでできることは自分でやっつけていこうと思っている。役所の方々、関係する事業者の方々。これからもよろしくをお願いします。
- (委員) 外見では障害者と判らない方が、多目的トイレを利用することも多く、もう少し数を増やせないか。枚方市駅の構内のエレベーターが小さく、また中央口から東口のトイレまでに階段があるので、そこをスロープにするなどの動線を考えてほしい。
- (委員) エレベーターの改善は是非行ってほしいし、大きいエレベーターがあるなら表示してほしい。また、プレミアムカーのチケットが買い難く、具体的にシミュレーションするなど、駅のハード面の改装も定期的にしてほしい。
- (委員) 枚方市駅中央口のエレベーター設置要望については、物理的な駅構造の点から現在設置困難だが、案内方法などのソフト面での工夫も検討していきたい。プレミアムカーのチケットはスマートフォンでも購入できるのでご利用いただきたい。
- (委員) 電車発車直前のアナウンスで「〇〇行の●●が・・・」と行き先までアナウンスがあったと思うが、今は、行先のアナウンスが無くなっている。視覚障害者が電車を利用する際、行先のアナウンスがある方がわかりやすいので、検討してほしい。
- (委員) いつの時期に、どの様ないきさつで変更されたのかを確認したうえで、わかりやすいアナウンスを今後とも検討していきたい。
- (アド) トイレの件はガイドラインが改定され、トイレの分散化が明記されている。多目的トイレに機能が集中し、本当に必要な人がなかなか使えない現状もあることから、今後は整備の際に機能を分散化する方向に変わっていくと思う。エレベーターの件は「大きな箱に変えてほしい。」という要望もあるのでまた検討していただきたい。

(アド) : アドバイザー (学識経験者)
(委員) : 当事者、管理者、事業者
(事) : 事務局 (枚方市)